

財団法人 北海道森林整備公社
平成22年度 事業報告

平成22年度 事業報告

(1) 事業の概要

平成22年度については、当初計画の事業と追加事業を含めて事業を実施し、森林整備の推進に努めた。

ア 分収育林事業

昭和61年度から募集が開始された分収育林契約において、平成元年北ぐにの森函館及び平成7年北ぐにの森追分が契約存続期間の満了となり、5.14haの主伐を実施し、オーナー及び育林地所有者と分収した。

イ 森林林業普及啓発事業

森林、林業についての普及啓発をすすめるため、森林を楽しむ会及びボランティア活動や支援活動を実施した。公社有林（中札内村新札内南）保育のため、間伐を実施した。

ウ 森林管理等受託事業

道有林において次の事業を実施した。

(ア) 森林管理事業

林野火災警防思想の啓発、入林者への指導、高山植物不法採取の監視、林野被害調査等の巡視業務、樹木園管理、林道安全管理等の施設管理業務や境界保全維持業務等について各森林室の重点項目に即して効率的に実施し、計画どおりの成果を収めた。

(イ) 調査測量事業

伐採木調査349,299m³、人工林標準地調査等967ヶ所、天然林調査等86ヶ所を受託し、予定どおり終了した。

調査精度の向上、事業の効率的な実施を図るため、選木、立木の調査方法、人工林の成績把握などについて地域の実情に即した内部研修を行った。

エ 森林評価等事業

(ア) 森林評価

道有林及び一般民有林を対象とした森林評価に関する調査17ヶ所を国、北海道及び民間から受託して実施した。

(イ) 保安林

保安林に関する事務手続5件を国及び民間から受託して実施した。

(ウ) 森林整備

野生化アライグマ捕獲業務など5件を北海道、札幌市及び民間から受託して実施した。

オ 森林保全等事業

(ア) 殺鼠剤

国、北海道、市町村及び民間（森林組合等）に対し、空中用及び地上用殺鼠剤を21,695kg販売したほか、殺鼠剤の配送業務を民間から受託して実施した。

(イ) 林業用薬剤等販売

コニファー等の林業用薬剤やパンチュートラップ等の野鼠生息調査用の器具等を115件販売した。

(ウ) 森林樹木診断

街路樹及び記念保護樹等の森林樹木診断業務など6件を北海道、札幌市及び民間から受託して実施した。

カ 道民の森管理事業

指定管理者として、道民の森について来園者の案内、植物管理、清掃、警備などの管理事業やイベントの実施など管理業務全般について、より効率的な管理運営と施設効用の高度発揮に努めた。

(2) 事業実績

事業名	計 画	実 績	増 減
分収育林事業	主伐 2ヶ所 5.14ha	主伐 2ヶ所 5.14ha	
森林林業普及啓発事業	間伐 0ヶ所 0ha	間伐 1ヶ所 8.88ha	1ヶ所 8.88ha
森林管理等受託事業			
森林管理	13森林室	13森林室	
調査測量			
伐採木調査	322,100m ³	349,299m ³	27,199m ³
人工林調査等	1,301ヶ所	967ヶ所	△334ヶ所
天然林調査等	67ヶ所	86ヶ所	19ヶ所
森林評価等事業			
森林評価	20件	17件	△3件
保安林	5件	5件	
森林整備	3件	5件	2件
森林保全等事業			
殺鼠剤	20,000kg	21,695kg	1,695kg
林業用薬剤等販売	60件	115件	55件
森林樹木診断	5件	6件	1件
道民の森管理事業	6地区	6地区	